

## 作物の形状分析＋気象データによる収量予測、薬剤使用量の削減 「みどりの食料システム EXPO」で、最先端事例を一挙公開

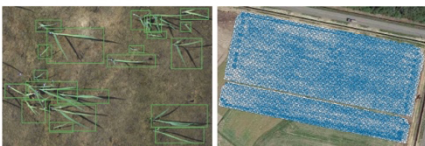
株式会社ナイルワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小嶋 康弘、以下「ナイルワークス」）は、2024年3月5日(火)～8日(金)に東京ビッグサイトで開催される「みどりの食料システム EXPO」に出展し、環境と調和のとれた最先端のソリューション事例をご紹介します。

### 「みどりの食料システム戦略」を加速！

食料・農林水産業は、自然災害や地球温暖化、生産者の高齢化や減少による生産基盤の脆弱化、地域コミュニティの衰退、消費の変化、資源価格の高騰などの課題に直面しています。農林水産省では、持続可能な食料システムを構築するため「みどりの食料システム戦略」を掲げ、令和4年7月1日には「みどりの食料システム法」が施行されました。ナイルワークスでは、テクノロジーで、生産から消費まで、環境と調和のとれた食料システムの実現を加速させます。

作物の形状分析と気象データを活かした栽培体系の確立・運用により、薬剤使用量の削減や有機肥料の効果的な活用、生鮮野菜の収量予測による廃棄野菜の削減に貢献しています。栽培現場での環境負荷の軽減、収量予測による製造や物流の効率化に貢献することで、「みどりの食料システム戦略」の実現を図ります。

#### 生育分析



#### 直播水稲の苗立ち分析

画像認識により苗立ち数をカウント。  
播種数と苗立ち数から圃場内の苗立ち率分布を算出。

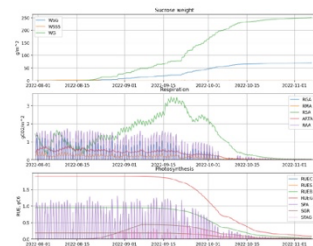
#### 病害検出



#### ブドウの病気の兆候を検出

ナイルワークスのマルチスペクトルカメラ撮影で、  
画像から病気・異常の兆しを検出。

#### 生育シミュレーション



#### 自然界をモデル化

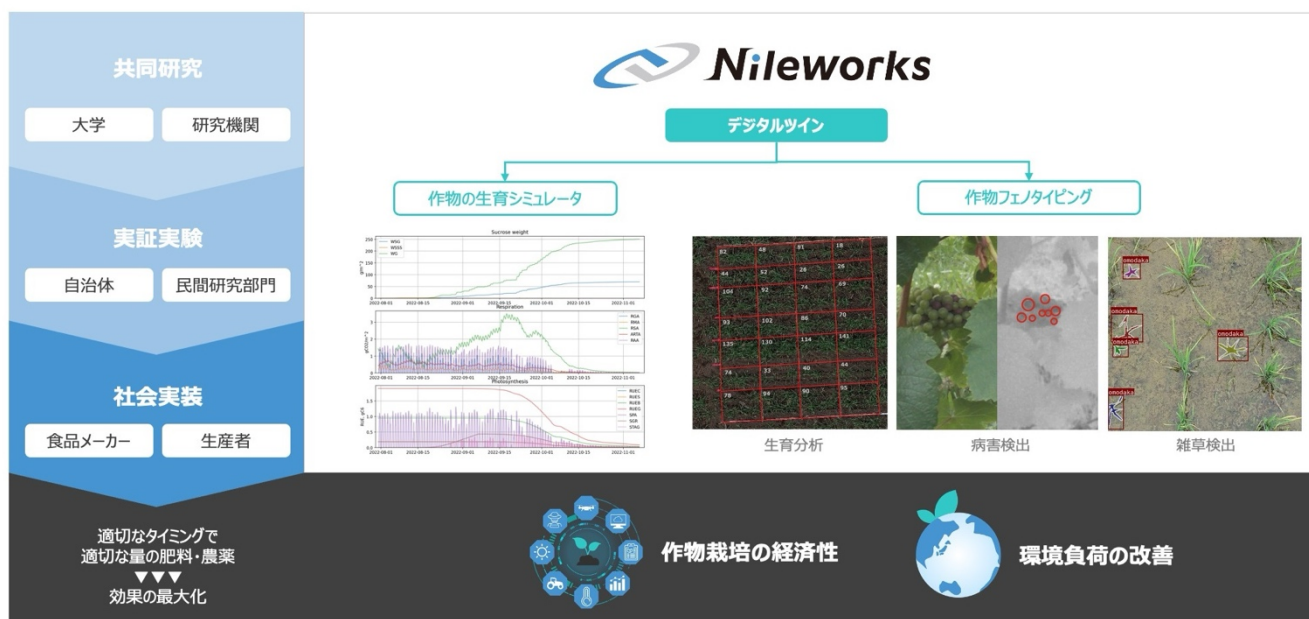
センサーデータ（水温・地温・水深）・衛星データ・気象・  
作物品種・土壌などのデータから、成長を数値シミュレーション。

## ナイルワークス独自のソリューション事例

ナイルワークスでは、大学・研究機関・自治体・食品メーカー・生産者など数多くのパートナーと連携し、社会実装を進めております。「みどりの食料システム EXPO」では、最先端のソリューション事例や有効な活用方法をご紹介します。

### ■ソリューション事例

- ①生鮮品の収穫予測：食品ロスの削減
- ②センシングデータを活用した水稻直播栽培：水稻生産の低コスト化
- ③雑草検出 AI：除草剤の使用量削減
- ④病害検出：農業関連試験の効率向上



## 出展概要

【展示会】 みどりの食料システム EXPO <https://agri-food.jma.or.jp/tokyo/index.php>

【日時】 2024年3月5日(火)～8日(金) 10:00～17:00

【場所】 東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1

りんかい線 国際展示場駅から徒歩約7分／ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅から徒歩約3分

【小間番号】 E7-JJ01 (東7ホール)

## ■参考

「みどりの食料システム戦略」（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/>

ナイルワークス提供サービス「アグリ・アシストサービス」「NileBank」

<https://www.nileworks.co.jp/product/nilebank/>

## ■会社概要



ナイルワークスは、これまで、数々の農業現場で、高齢化や後継者不足に悩む農家の姿を目の当たりにしてきました。だからこそ、「農家の悩みを解決したい」という強い想いが、わたしたちのモノ作りの原点です。ドローン開発、画像解析 AI による栽培支援や農作業マッチングサービスを展開し、総合的に、栽培の経済性の向上、作物の品質の向上、環境負荷の低減を実現していきます。

ナイルワークスは、テクノロジーで農と食に起因する課題を解決してまいります。

会社名： 株式会社ナイルワークス

設立： 2015 年 1 月

所在地： 東京都千代田区神田錦町一丁目 4 番 3 号

代表者： 代表取締役社長 小嶋 康弘

事業内容： 農業用ドローンの開発、製造、販売

デジタル農業・農業 DX における技術開発、サービス提供

農作業マッチングサービスを提供

URL： <https://www.nileworks.co.jp>

以上

本件に関する問い合わせ先

株式会社ナイルワークス 広報

TEL:03-5577-3071 Email:pr@nileworks.co.jp